

平成 20 年 7 月 31 日

日本音声言語医学会理事長 殿

所属施設・部局 高知大学医学部・耳鼻咽喉科

申請者(代表者) 兵頭 政光 (署名・捺印)

所属部局責任者 暁 清文 (署名・捺印)

## 研究報告書

プロジェクトの名称：Voice Handicap Index 日本語版を用いた学校教員における音声障害のアンケート調査

1. 実施結果の概要（800字程度：なお、その中に本経費で購入した機器・消耗品等が、どのように研究に活用されたのかを簡潔に記入する。）

高知県下の小・中学校の教員を対象として音声障害に関するアンケート調査を行った。アンケートには勤務状況や音声の使用状況に加えて、Voice Handicap Index (VHI) による自覚度評価も併せて行い、音声障害の程度や勤務への支障度などをより多角的に解析した。

アンケートには468名（小学校244名、中学校224名）より回答が得られた。その結果、声のかすれやのどの痛み・違和感を50%以上の教員が自覚していた。また、中学校では約65%の教員が部活動・クラブ活動の指導に従事しており、慢性的な声の酷使の現状が示唆された。声のかすれなどの症状は女性や11年以上の教員歴を有するものに、より多い傾向にあった。しかし、音声障害に対する診察や治療を受けたことのある教員は少数に過ぎなかった。VHIスコアは平均14.7点であったがばらつきが大きく、自覚度には個人差が大きいと考えられた。subscale別では機能的側面のスコアが5.8点と他の側面のスコアに比較して高かった。また、VHIスコアは女性や11年以上の勤務歴を有する教員で高かった。以上より、学校教員の音声障害に対する予防指導や治療の重要性が示された。

本研究を遂行するにあたって、日本音声言語医学会の助成金はアンケート用紙の印刷・郵送、データ集計のためのPC用ソフト購入、データ保存のためのメディア購入、研究分担者との打ち合わせ費用や通信費などに使用した。

2. 本研究に関わる将来展望

(1) 研究成果とそのインパクト（A4用紙に2～3枚程度）

学校教員においては潜在的な音声障害を有するものが少なくないことが示され、特に女性教員や11年目以上の教員ではより高頻度に見られることが明らかとなった。以上より、教育委員会や学校が一体となって、音声障害の発症予防を行うことの重要性が示唆された。

(2) その他に特記すべきことがありましたら記入ください。

今回は高知県の教員を対象としてアンケート調査を行ったが、今後は全国レベルでの大規模な調査を行うことが望まれる。

4. 実績発表（発表予定を含む）

代表者・分担者氏名	発表論文名・著者名等 (著者名、論文名、学会等名、巻(号)、発表年(西暦))
兵頭政光	<p><u>兵頭政光</u>：喉頭形成術の術後管理． ENTONI 72:54-56,2007</p> <p>本吉和美、<u>兵頭政光</u>、<u>田口亜紀</u>：Ejnell法による声門開大術後の音声機能．耳鼻と臨床 53(5):289-249,2007</p> <p><u>兵頭政光</u>：音声機能外科手術のための臨床解剖．JOHNS 24(3):469-472,2008</p> <p><u>Hyodo M</u>, <u>Nishikubo K</u>, <u>Motoyoshi K</u>：Laterofixation of the vocal cord using an endo-extralaryngeal needle carrier for bilateral vocal cord paralysis．Auris Nasus Larynx (in press)</p> <p><u>兵頭政光</u>：痙攣性発声障害の保存的治療．ENTONI（印刷中）</p> <p><u>兵頭政光</u>、<u>田口亜紀</u>、<u>西窪加緒里</u>：加齢に伴う嗄声．ENTONI（印刷中）</p> <p><u>兵頭政光</u>：空気力学的検査．声の検査法．日本音声言語医学会（編），医歯薬出版（印刷中）</p> <p><u>兵頭政光</u>、<u>田口亜紀</u>、<u>三瀬和代</u>、<u>城本 修</u>：Voice Handicap Index 日本語版を用いた学校教員における音声障害のアンケート調査．音声言語（発表予定）</p>
田口亜紀	<p><u>田口亜紀</u>、<u>兵頭政光</u>：声帯結節の治療－保存的治療の立場から－．JOHNS 23(11): 1634-1637,2007</p> <p><u>田口亜紀</u>、<u>兵頭政光</u>、<u>城本 修</u>：臨床現場における音声治療の実際－発声障害と音声治療－．喉頭（投稿済み）</p>
三瀬和代	<p>共著分の業績は上記に記載済み</p>
城本 修	<p>共著分の業績は上記に記載済み</p>